

# 東京言語研究所

## 集中講義のご案内

東京言語研究所では、言語学の研究者の方々ならびに言語学に興味をお持ちの方々を対象に〔理論言語学講座〕をはじめとして様々な講座を開設しております。〈集中講義〉は、多様な研究領域に関して、ひとりでも多くの方々に知っていただくため、年間 2 回の集中講義を実施しています。ぜひご参加ください。

〈演題〉ことばの観察を通して心を探る ―英語の仮定法現在を中心に―

〈講師〉 千葉 修司 氏 (津田塾大学名誉教授)

〈日時〉 2015 年 3 月 28 日(土) 13:00~18:20 (90分講義×3コマ)

29 日(日) 10:30~16:20 (90分講義×3コマ)

〈会場〉 東京言語研究所 (新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階)

〈参加費〉 一般 12,000 円

学生・大学院生・2014 年度理論言語学講座受講生 9,000 円

〈申込み〉 ホームページ申込みフォームまたは FAX にて下記をご連絡下さい。(定数:50名)

※ 申込み受付期間は 2 月 2 日(月)~3 月 26 日(木)までです。

- ①集中講義受講希望 ②氏名 ③フリガナ ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号
- ⑦E メールアドレス ⑧区分 (2014 年度理論言語学講座受講生・一般・学生)
- ⑨所属区分 (大学生・大学院生・教員・会社員・その他)

(上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません)

講師紹介: 1970年東京教育大学文学研究科博士課程(英語学専攻)中退。1980-82年米国 MIT 留学。大妻女子大学専任講師、津田塾大学教授を経て、現在、津田塾大学名誉教授。専門分野は、言語学、英語学(統語論・意味論)。主な著書・論文に *Present Subjunctives in Present-Day English*(篠崎書林, 1987),『英語の仮定法—仮定法現在を中心に』(開拓社, 2013), “On Some Aspects of Multiple Wh Questions” (*Studies in English Linguistics* 5, 1977), “On Transitive Verb Phrase Complementation in English” (*English Linguistics* 2, 1985), “Non-localizable Contextual Features: Present Subjunctive in English” (H. Nakajima (ed.), *Current English Linguistics in Japan*, Mouton de Gruyter, 1991), “Licensing Conditions for Sentence Adverbials in English and Japanese ” (S. Chiba et al. (eds.), *Empirical and Theoretical Investigations into Language*, 開拓社, 2003) など。

○ 問合せ先

公益財団法人ラポ国際交流センター 東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420 FAX:03-5324-3427

E-mail:[info@tokyo-gengo.gr.jp](mailto:info@tokyo-gengo.gr.jp) ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

## 講義 概要

20世紀初頭、「おそらく、後20年もすれば、仮定法動詞は、唯一の例外 were を除いて、地球上から姿を消してしまっていることであろう」とさえ言われたことのある英語の仮定法ですが、現在も立派に生き残っています。英語における仮定法の研究は、これまで、どちらかというと言陰者的存在であったと言えるのですが、仮定法にかかわる言語事実を深く探っていくと、そこからいろいろと言語学的に興味深い現象やあまり知られていなかった世界が見えてくるのが分かります。

本講義では、おなじみの仮定法過去及び仮定法過去完了の用法についての話題を最初に取り上げ、ついで、Chiba (1987) および千葉 (2013)の著書の中で解説されている「仮定法現在」(e.g. I demand that she not be chosen as president this time.) の用法についての様々な話題へと話を進めていきます。具体的テーマとしては、「仮定法によく似た直説法の文」「仮定法の中の隠された条件」「仮定法の『伝播』と時の一致」「仮定法節内の should のあるなし」「仮定法節内の not の語順」「仮定法節を導く that のあるなし」「仮定法と言語習得」「仮定法節の音声的特徴」「仮定法動詞の歴史的変化」「仮定法現在と疑問文は共存できるか」「命令文としての発話行為をもつ仮定法」「仮定法節の認可要素」「仮定法現在それとも直説法動詞: “so help me God,” “a dream come true”」「欽定訳聖書に見る仮定法現在—認可要素探索の旅」「現代英語に見られる仮定法現在の再考と拡大」「直説法動詞を用いたイギリス英語の仮定法節」「I demand that she not be chosen の語順はいつ頃どのようにして生まれたのか」「アメリカ英語とイギリス英語」「世界の英語の中の仮定法現在」などの中から幾つか選んで取り上げます。レポート、卒論・修論などに応用できる「今後の研究テーマ」についても触れるつもりです。

千葉修司『英語の仮定法—仮定法現在を中心に』のために用意した pdf ファイル資料『英語の仮定法』ノート(0)~(67) (Chiba (1987) の pdf ファイル版を含む)があります。インターネットの Dropbox の中に置いておきますので、受講生のみなさんはご自由にご利用いただけます。Dropbox のアドレスは後日メールでお知らせいたします。

## 時間割

\* 変更の可能性があります

- 1 英語の仮定法—その基本的特徴と仮定法現在(1)
- 2 英語の仮定法—その基本的特徴と仮定法現在(2)
- 3 動詞繰り上げ規則と仮定法現在
- 4 仮定法現在と疑問文
- 5 欽定訳聖書に見る仮定法現在
- 6 現代英語に見られる仮定法現在の再興と拡大

### 28日(土)

- 13:00 開講式
- 13:10 講義—1
- 14:40 講義—1 終了 休憩
- 15:00 講義—2
- 16:30 講義—2 終了 休憩
- 16:50 講義—3
- 18:20 講義—3 終了

### 29日(日)

- 10:30 講義—4
- 12:00 講義—4 終了 休憩 昼食
- 13:00 講義—5
- 14:30 講義—5 終了 休憩
- 14:50 講義—6
- 16:20 講義—6 終了